

第1話 散文の物語

飢饉とカラス神

収録日：1993年10月28日

資料番号：35224A

添付CD：5-1（21分25秒）

第1話 散文の物語「飢饉とカラス神」¹⁾

(ある女性が語る)

アコン ニシパ アン…

a=kor_ nispa an…

(私)の 夫 いる

私は夫と

トゥラノ オカアン ワ

turano oka=an wa

一緒に 暮らす(私達) して

一緒に暮らしていました。

アコン ニシパ エキムネ コロ

a=kor_ nispa ekimne kor

(私)の 夫 山獺に行く と

夫が山獺に行く

ウサ ユク ネ チキ カムイ ネ チキ

usa yuk ne ciki kamuy ne ciki

色々 シカ でも クマ でも

シカやクマを

5 エアウナルラ ワ

eawnarura wa

家に運ん で

とって来るので

ネプ アエ ルスイ カ アコン ルスイ カ

nep a=e rusuy ka a=kor_ rusuy ka

何 (私)食べたい も (私)持ち たい も

何を食べたいとも欲しいとも

ソモ キ ノ オカアン。

somo ki no oka=an.

しない で 暮らす(私達)

思わずに暮らしていました。

オラ シネ マツネポ タクプ

ora sine matnepo takup

こんど ひとり 娘 だけ

そしてひとり娘を

アコロ ペ ネ ワ… ネ ワ

a=kor pe ne wa… ne wa

(私)持つ もの であって であって

授かり

10 アコロ マツネポ ポロ ヒ

a=kor matnepo poro hi

(私)の 娘 大きくなる とき

娘が大きくなって

(雑音)

1 当館に残る最初の上田トシ氏の録音。この話の伝承経路は不明。録音は1993年10月28日白老町コミュニティセンターで開催された国際先住民年記念「広げよう民族の心 北と南の文化交流」で披露された口演である。解説は札幌学院大学の奥田統己氏。通常の調査とは状況が異なり、会場マイクを通しての録音であるため物語以外の情報は記録されていない。北海道アイヌ民族文化研究センター『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』資料番号CC800115の上田トシ氏による同話の別録音では「姉(木村きみ氏)から聞いた」とコメントしている。またこの話は北海道教育委員会1998『アイヌ民俗文化財調査報告書XVIII』、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構編2004『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』平石清隆著「沙流地方のウエペケレ〜上田としの伝承〜4. 親不孝の娘の村が鳥に荒らされた話」(pp618-643)として別録音の活字化資料が公開されている。

コロ オカアン ロキネ
kor oka=an rok_hine
ながら 暮らす(私達) した そして

タネ アマツネポ カ ポロ ヒ オラ
tane a=matnepo ka poro hi ora
もう (私の)娘 も 大きくなる とき こんど

ウカスイアン コロ エキムネアン。
ukasuy=an kor ekimne=an.
助け合い(私達) ながら 山へ行く(私達)

ニナ ネ ヤ ナ ネン ネン
nina ne ya na nen nen
まき だ とか まだ いろ いろ

15 アマツネポ トウラノ ウトウラアン カネ ワ
a=matnepo turano utura=an kane wa
(私の)娘 と一緒に 連れ立つ(私達) も して

エキムネアン ネ ヤ キ ワ ネ…
ekimne=an ne ya ki wa ne…
山に行く(私達) だ とか し て

ポ ヘネ ネプ カ アコン ルスイ カ ソモ キ。
po hene nep ka a=kor_rusuy ka somo ki.
なおさら 何 も (私)持ち たく も ない

アコン ニシパ ネ ヤッカ ユプテク クル
a=kor_nispa ne yakka yuptek kur
(私の)の 夫 で も 働き者である 人

ネ… イソン クル ネ… クス
ne… ison kur ne… kusu
狩りがうまい 人 だ から

20 ネプ カ アエイコイトウパ カ ソモ キ ノ
nep ka a=eykoytupa ka somo ki no
何 も (私)うらやみ も しない で

オカアン ペ ネ ア プ
oka=an pe ne a p
暮らす(私達) もの だった が

シネアンタ ソイ… エソイネ フマシ クス
sineanta soy… esoyne humas kusu
ある時 外 外で 音がする ので

ソイネアニネ インカラアン アクス
soyne=an_hine inkar=an akusu
外に出る(私) して みる(私) したところ

イパナケ ウン クル
i=panake un kur
(私の)川下 に住む 男の人

からは

助け合って山仕事へ行きました。

まき取りやいろいろ

娘と連れ立って

山仕事へ行ったりして

なおさら何の不満もありませんでした。

私の夫も働き者で

狩りがうまいので

人をうらやむこともせずに

暮らしていたのでした。

あるとき、外で音がしたので

私が出てみると

川下の方に住む男の人が

- 25 ソイ タ アン ルウエ ネ ヒ クス
soy ta an ruwe ne hi kusu
外 に いる こと だ から
立っていました。
- アフナン イ アイエ アクス
ahun=an _hi a=ye akusu
入る(人) こと (私)言っ たところ
お入りいただきましょうかと言うと
- アコン ニシパ
a=kor_ nispa
(私)の 夫
夫は
- “アアフンケレ ヤク ピリカ ナ”
“a=ahunkere yak pirka na”
(人)入ってもらう と いい よ
「入ってもらったらいい」
- セコロ ハウエアン…
sekor hawean…
と 言う
と
- 30 アコン ニシパ ハウエアン クス アアフンケ イネ
a=kor_ nispa hawean kusu a=ahunke _hine
(私)の 夫 言う ので (私)入れ て
言うので中に招き入れると
- アフン イネ ウウエランカラパ…
ahun _hine uwerankarap…
入っ て 互いに挨拶をする
男の人は入って来て
- ウタシパ ウウエランカラツパ ヒネ²
utaspa uwerankarappa hine
交代で 挨拶をする して
互いに挨拶を交わし
- オラノ ナ ネン ネン
orano na nen nen
それから まだ いる いる
それからいろいろと
- キモロ オルシペ ネ ヤ
kim or oruspe ne ya
山 での 話 だ とか
山猫の話や
- 35 ネプキ オルシペ エウコイソイタクパ コロ³
nepki oruspe eukoisoytakpa kor
仕事 話 互いに話し ながら
仕事の話をお互いにし
- アコン ニシパ カ キ コロ オカアン
a=kor_ nispa ka ki kor oka=an
(私)の 夫 も し て いる(私達)
夫も応じていました。

- 2 このウウエランカラパ uwerankarap(-pa) は正式な挨拶のことを指す。オンカミ onkami (拝礼) を交わし、客人、家の主人とそれぞれ律語を連ねて長々とあいさつをし、それから訪問の要件などに移る。文中では語尾が複数形 (-pa) になっている。
- 3 お互いの素性がわからない初対面のときは、こうした会話のやりとりで相手の素性を探り合うのが普通である。例えば相手が神であった場合には、狩りなど通常の仕事の話が中心にならず、神の国での話などが中心となるため違和感を抱くという展開もある。この場合は相手も山の話、仕事の話をしているので普通の人間であることがこの段階で判明する。

ラポッケ スケアン ヒネ
rapokke suke=an hine
そのうちに 料理を作る(私) して

私はその間に料理を作り

オヌマンイペアン オカアン アクス オラ ワ…
onumanipe=an oka=an akusu ora wa…
夕食をする(私達) いる(私達) したところ こんど

みなで夕飯を食べました。

40 ウコイタク コロ ウウエネウサラ コロ
ukoitak kor uwenewsar kor
互いに話し ながら 話をし ながら

互いによもやま話をして楽しんで

オカ ロク イネ
oka rok hine
い た そして

いると

アコン ニシパ イタク ウトウル テレ ランケ
a=kor_nispa itak utur tere ranke
(私)の 夫 言葉 の間 を待つ 何度も

夫の言葉が途切れるのを

イパナケ ウン クル イタク ウトウル
i=panake un kur itak utur
(私の)川下 に住む 男の人 言葉 の間

川下の男の人は

テレ ランケ コロ アン コトム アン アイネ⁴
tere ranke kor an kotom an ayne
待つ 何度も して いる ようで いる うちに

何度も待っているような感じでしたが

オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean hi.
こんど このように言った

やがてこう切り出しました。

45 “アコン ニシパ マツネポホ アエトウン クス
“a=kor_nispa matnepoho a=etun kusu
(私)の 旦那さん の娘 (私)嫁にする ために

「旦那さんの娘さんを嫁にもらうために

エカン ルウエ ネ”
ek=an ruwe ne”
来る(私) の です

私はやって来たのです」

セコロ ハウエアアン ルウエ ネ アクス
sekor hawean ruwe ne akusu
と 言う こと だっ たところ

と言いました。

アコン ニシパ エライキマテク
a=kor_nispa eraykimatek
(私)の 夫 ひどく驚く

夫はひどく驚いて

“アツ タクピ アコロ オペレ…
“ar_takupi a=kor oper…
ただそれだけ (私)の 娘

「たったひとりの

4 何か重要な話をしようとしているときの常套表現。この場合、未婚の男性が恋人の父に「お嬢さんをください」と言い出そうとしている気持ちを想像してみるとよくわかる。しかし初対面でそれを言い出すというのは相当な度胸がいることである。

- 50 シネ マツネポ ネ ワ
sine matnepo ne wa
ひとり 娘 であっ て
娘なのです。
- トゥラノ オカアン ワ ポロ ヤクン
turano oka=an wa poro yakun
一緒に 暮らす(私達) して 大きくなる ならば
一緒に暮らして大人になったなら
- ネン カ コン ルスイ ワ アコレ ヤクン
nen ka kor_rusuy wa a=kore yakun
誰 か 持ち たく て (私達)与える ならば
誰かに望まれて嫁にやったなら
- オラ シソイタ アヌ ワ
ora sisoyta anu wa
こんど 自分の家の外に 置い て
隣に住まわせて
- シカ…ウンテアン⁶ クニ
sika... unte=an kuni
養ってもらおう(私達)? と
面倒を見てもらおうと
- 55 アラム コロ アナン ルウエ ネ ア プ
a=ramukor an=an ruwe ne a p
(私)思い ながら 暮らす(私) こと だっ た のに
ずっと思っていたのに
- ネン アイイエ ヤッカ アマツネポ アコララ
nen a=i=ye yakka a=matnepo a=korar
何 (人が私に)言っ ても (私の)娘 (私)嫁にやる
何を言われても娘を嫁にやることは
- アコライニウケシ ルウエ ネ ”
a=korayniwkes ruwe ne”
(私)ことができない の です
できかねるのです」
- セコロ アコン ニシパ ハウエアン コロ
sekor a=kor_nispa hawean kor
と (私)の 夫 言い ながら
と夫が言って
- コパン ヤッカ
kopan yakka
拒む しても
断るのですが
- 60 “ヤイカタ カ
“yaykata ka
自分 も
「自分も
- シネ ポ タクプ アコロ ペ ネ クス
sine po takup a=kor pe ne kusu
ひとり 息子 だけ (人)持つ もの だ から
ひとりっ子なので
- ウタシパ シネ ポ シネ マツネポ ネ クス
utaspa sine po sine matnepo ne kusu
お互いに ひとり 息子 ひとり 娘 だ から
お互いにひとりっ子同士なので

5 語形未詳。何と言おうとしたのか不明だが、あるいはシカオイキヤラ sikaoykiyar「人に養ってもらおう」か。

ウタシパ ウコパヨカ ヤツカ ピリカ” ヒ
 utaspa ukopayoka yakka pirka” hi
 交代で 互いに訪ねる しても いい こと

行き来すればいいでしょう」と

トウ ピリカ イタク レ ピリカ イタク イェ コロ
 tu pirka itak re pirka itak ye kor
 2 良い 言葉 3 良い 言葉 言い ながら

良い言葉を重ねて

65 エアラキンネ アコン ニシパ
 earkinne a=kor_ nispa
 本当に (私の)の 夫

懸命に私の夫に

カシ アオシケ⁶ アイネ オラ
 kasi a=osike ayne ora
 贈り物を(私)した あげく こんど

贈り物(?)をすると

アコン ニシパ カトウトウルシノ⁷
 a=kor_ nispa katuturusino
 (私の)の 夫 嫌々ながらに

夫は嫌々ながらに

エセ ルウエ ネ ヒネ
 ese ruwe ne hine
 承諾すること であっ て

承知しました。

オラ ニサッタ ネ アン アクス オラ
 ora nisatta ne an akusu ora
 こんど 翌日 に なる と こんど

そして翌日になると

70 ナニ アコ… アマツネポ コロ ワ オカイ ペ
 nani ako... a=matnepo kor wa okay pe
 すぐに (私の)娘 持っ て いる もの

すぐに娘は持ち物を

ウウオマラパレ イネ セ ヒネ
 uwomarpare _hine se hine
 集め て 背負っ て

まとめて背負い

ネア ニシパ トウラ ヒネ サン ワ イサム ワ
 nea nispa tura hine san wa isam wa
 その 男性 と一緒 して 下っ て しまっ て

その人と一緒に行ってしまいました。

オカアン イケ カ
 oka=an _hike ka
 暮らす(私達) して も

私たちは毎日

アコヘプトウトウ コロ オカアン ヤツカ
 a=kohepututu kor oka=an yakka
 (私)ふくれっ面をし て いる(私達) でも

ふくれっ面をして暮らしていましたが

75 オラノ イネ ヘンパク ト
 orano ine henpak to
 それから 何日

何日も

6 カシエホツケと聞こえるが、こう言おうとしたと考えた。

7 katuturusino (katuturusino?) ~ eese ruwe-ne 不承無承に承知する 嫌々ながら承知した。[久 396]

イネ ヘンパク チュプ アン ヤツカ
ine henpak cup an yakka
何か月 たっ ても

何か月たっても

イホタヌカラパ カ ソモ キ ノ
i=hotanukarpa ka somo ki no
(私達を)訪ねる も しない で

娘が訪ねて来ることはありませんでした。

アコイルシカパ コロ オカアン ラポッケ
a=koiruskapa kor oka=an rapokke
(私達)腹を立てる ながら 暮らす(私達) そのうちに

腹を立てて暮らすうちに

マク ネ ワ ネ ヤ アコタヌ ケムシ イネ
mak ne wa ne ya a=kotanu kemus _hine
どう し て だ か (私の)村 飢饉になって

どうしたことか私の村が飢饉になり

80 エアラキンネ アウク ワ アエプ カ イサム ヒ
earkinne a=uk wa aep ka isam hi
本当に (私)とつ て 食べ物 も ない こと

本当に食べる物もなくて

ヤイウエンヌカラアン コロ
yaywennukar=an kor
苦しむ(私) ながら

苦しんで

アナン ルウエ ネ アクス
an=an ruwe ne akusu
暮らす(私) こと だっ たところ

いたところ

アコン ニシパ シネアンタ エネ ハウエアニ。
a=kor_nispa sineanta ene hawean _hi.
(私の) 夫 あるとき このように言った

あるとき夫がこう言いました。

“アコロ イヨッタ ピリカ セツパ⁸
“a=kor iyotta pirka seppa
(私の) 一番 良い 切羽

「私の持つ一番いい刀のつばを

85 エセ ワ エサン ワ
e=se wa e=san wa
(お前)背負っ て (お前)下っ て

おまえは持って川を下り

アマツネポホ シウトホ⁹ エウン
a=matnepoho siwtho eun
(私達の)娘 の嫁ぎ先 に

娘の嫁ぎ先の親のところに

エセ ワ エアラパ ワ
e=se wa e=arpa wa
(お前)背負っ て (お前)行っ て

持って行って

- 8 日本語「切羽」からの移入語。刀のつば。和人文化からもたらされ、アイヌ社会では本来の用途から離れて宝物として大切に保管される。そして宝物の中でも特別な力を持つものとしてまじないなどにも使われる。ここではその中の一番良い品を差し出すほど困っていることを意味している。
- 9 日本語「しゅうと」からの移入語。しゅうとめや嫁ぎ先のおじ、お婆などの親族もこの語で表現される。ここではシウトホ siwtho 「～のしゅうと」とアイヌ語の所属形になっている。

アエプ エタサレ ワ エエク クス ネ ナ”
 aep e=tasare wa e=ek kusu ne na”
 食べ物 (お前)交換し て (お前)来る の だ よ

食べ物と交換して来なさい」

セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら

と言って

90 セツパ サンケ ワ イコレ。
 seppa sanke wa i=kore.
 切羽 を出し て (私に)くれる

刀のつばを出して私に託しました。

メノコ アナクネ オハ メノコ
 menoko anakne oha menoko
 女 は 同じ 女

女性は女性同士で

ウコイタクヌ プ ネ ナ
 ukoitaknu p ne na
 会話する もの だ ぞ

口をきくのだぞ

セコロ ヘメム イイエ コロ
 sekor hemem i=ye kor
 と も (私に)言い ながら

とも言われながら

オラ ネ セツパ アセ ヒネ サナン コロカ
 ora ne seppa a=se hine san=an korka
 こんど その 切羽 (私)背負っ て 下る(私) けれど

それを持って川を下って行きました。

95 ケメウエンアン ペ ネ クス
 kemewen=an pe ne kusu
 飢饉で悪くなる(私) もの だ から

しかし飢えで

シンキアン ネ ヤ ナ ネン ネン ネ ワ
 sinki=an ne ya na nen nen ne wa
 疲れる(私) だ とかまだいろ いろ であって

衰弱したりしているのだ

アプカシコヤイクシアン コロ ネ コロカ
 apkaskoyaykus=an kor ne korka
 歩きにくい(私) ながら だ けれど

歩くのもつらいけれど

サナン ヒネ
 san=an hine
 下る(私) して

川を下って行き

タネ コタン カランケ
 tane kotan karanke
 もう 村 近く

もう娘の嫁いだ村に

100 サナン ヒ ネ クニ アラム コロ
 san=an hi ne kuni a=ramu kor
 下る(私) ころだ と (私)思い ながら

着くころだと思いながら

- ルアシッタ⁽¹⁰⁾ シニアン ヒネ
 ruasitta sini=an hine
 道のわきで 休む(私) して
 道のわきで休んで
- アナン ルウエ ネ アクス
 an=an ruwe ne akusu
 いる(私) こと だっ たところ
 いると
- アイヌ ハウ アシ ペコロ ヤイヌアン イ クス
 aynu haw as pekor yaynu=an _hi kusu
 人 声 する ように 思う(私) ので
 人の声がしたように思いました。
- インカラン アクス
 inkar=an akusu
 見る(私) したところ
 見ると
- 105 ポン メノコ ウタラ ニシケ ニシケ カネ
 pon menoko utar nisike nisike kane
 若い 女 達 薪を運ぶ も
 若い娘達がまきを運んで
- オカ ワ ポン メノコ ウタラ
 oka wa pon menoko utar
 い て 若い 女 達
 いて
- ウトウラ ヒネ サツパ。
 utura hine sappa.
 連れ立っ て 下る
 連れ立ってやって来たのでした。
- オラ ルアシッタ シンキアン コロ
 ora ruasitta sinki=an kor
 こんど 道のわきで 疲れ(私) ながら
 私は道端で疲れて
- ケマトウリアン カネ アナン ヒネ
 kematuri=an kane an=an hine
 足を伸ばす(私) して いる(私) して
 足を伸ばして
- 110 シニアン ヒネ アナン ルウエ ネ ア プ
 sini=an hine an=an ruwe ne a p
 休む(私) して いる(私) こと だっ た が
 いたのですが
- ホシキノ ニシケ ワ サン メノコ アナクネ
 hoskino nisike wa san menoko anakne
 先に 薪を背負っ て 下る 女 は
 先頭でまきを背負って下って来た女は
- アマツネポホ ネ。
 a=matnepoho ne.
 (私の)娘 である
 私の娘でした。
- ホシキ サン ヒケ オラノ
 hoski san hike orano
 先に 下る が それから
 先に立ってやって来て

10 前掲『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』CC800115 上田トシ氏による日本語の語りでは、この部分を「道路のへり」と説明している。

イサム クス ヒケ カ
i=sam kusu hike ka
(私の)そばを通る に も

私のそばを通ったのに

115 ソモ イヌカラ アペコロ アン コロ¹¹
somo i=nukar apekor an kor
(私を)見ない かのよう に い て

まるで私が見えないかのようにして

ウレ アニ… ウレ イエオコク ペコロ イキ コロ
ure ani... ure i=eokok pekor iki kor
足先 で 足先 (私に)つまづく かのよう に し て

足先で私にけつまづくようにして

イアツカリ シリ アヌカラ ヒ
i=akkari siri a=nukar hi
(私を)越える 様子 (私)見る こと

通り越して行ったのでした。

タクピ カ アコイルシカ コロ ネ コロカ
takupi ka a=koiruska kor ne korka
だけ も (私)怒り ながら だ けれど

それだけでも腹が立ちました

エネネ ヒ カ イサム ペ ネ クス
enene hi ka isam pe ne kusu
どうする こと も ない もの だ から

どうすることもできないので

120 オシ サナン ルウエ ネ アクス
os san=an ruwe ne akusu
後 下る(私) こと だっ たところ

後から川を下って行きました。

コタン イマク タ ピリカ ポン チセ アン ヒネ
kotan imak ta pirka pon cise an hine
村 の奥 に きれいな 小さい 家 あっ て

すると村の奥にきれいな小さい家があり

オロ ワ… イオシ ノ ニシケ カネ ワ
oro wa... ios no nisike kane wa
そこ に その後 で 薪を運ぶ も して

そこに私の後からまきを背負って

サナ ポン メノコ エキネ
san a pon menoko ek_hine
下っ た 若い 女 来 て

川を下って来た若い娘が

ルアシッタ エキネ
ruasitta ek_hine
道のわきに 来 て

道のわきに来て

125 ヒナク ワ エカン ペ アネ ルウエ ネ ヤ
hinak wa ek=an pe a=ne ruwe ne ya
どこ から 来る(私) もの (私)な の だ か

どこから来たのかと

イコウウエペケンヌ ヒ クス
i=kouwepekennu hi kusu
(私に)尋ねる ので

私に尋ねるので

11 実の母親に取る態度とは思えず、娘に何か大きな心の変化があったことを示している。嫁いで以来訪ねて来なかったことも関係しているように思われる。

“ タプネ カネ タアン コタン オツ タ
 “ tapne kane taan kotan or_ ta
 このようなわけで あの 村 の所 に

「このようなわけであちらの村で

オカアン ペ ネ ワ
 oka=an pe ne wa
 暮らす(私) もの であって

暮らしていたのですが

アマツネポ タン コタン オルン
 a=matnepo tan kotan or un
 (私の)娘 この 村 の所の

私の娘がこの村の

130 コタンコンニシパ コン ルスイ ヒネ
 kotankonnispa kor_ rusuy hine
 村長 持ち たく て

村長に望まれて

アコレ ワ トウラ ワ サナン… サプ ア プ
 a=kore wa tura wa san=an... sap a p
 (私)与え て 一緒 に 下る(人) 下っ た が

嫁がせて一緒に川を下って行ったのです。

オラノ イホタヌカラパ カ ソモ キ コロカ
 orano i=hotanukarpa ka somo ki korka
 それから (私を)訪ねる も しない けれど

それからは訪ねても来ないけれど

ナア ペウレアン クス ネプキアン コロ
 naa pewre=an kusu nepki=an kor
 まだ 若い(私) ので 働く(私) ながら

まだ私も若いので働いて

オカアン ルウエ ネ ア プ
 oka=an ruwe ne a p
 暮らす(私) こと だった が

いたのですが

135 マク ネ ワ ネ ヤ アコタヌ ケムシ ワ
 mak ne wa ne ya a=kotanu kemus wa
 どう して だ か (私の)村 飢饉になって

どうしたことか私の村が飢饉になり

エアラキンネ ヤイウエンヌカラアン ワ… クス
 earkinne yaywennukar=an wa... kusu
 本当に 苦しむ(私) して ので

本当に苦しんで暮らしているのです

シリペエサナン ルウエ ネ ”
 siripeesan=an ruwe ne”
 食糧調達に下る(私) の です

食糧をもらいに川を下って来たのです」

セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ

と言ったところ

ネ ポン メノコ
 ne pon menoko
 その 若い 女

その若い娘は

140 エアラキンネ イケムヌハウコカリ コロ
 earkinne ikemnuhawkokari kor
 本当に 同情の声をあげ ながら

私に同情の声をあげて

“ホクレ ホクレ シニアン ヤツカ ピリカ ナ”
 “hokure hokure sini=an yakka pirka na”
 早く 早く 休む(私達) しても いい よ

「さあ早く、家に入ってお休みください」

セコロ ハウエアン コロ オラ イシニレ ヒ クス
 sekor hawean kor ora i=sinire hi kusu
 と 言い ながら こんど (私を)休ませる ので

と言って私を休ませてくれたので

シニアン ルウエ ネ アクス
 sini=an ruwe ne akusu
 休む(私) こと だっ たところ

そこで休んでいると

エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi.
 このように言った

娘さんはこのように言いました。

145 “カツケマツ カムイ エサン ヤツカ
 “katkemat kamuy e=san yakka
 奥 様 (お前)下っ ても

「奥様が川を下って来ても

アイペレ カ ネプ カ アエコレ カ
 a=ipere ka nep ka a=e=kore ka
 (人)食事させ も 何 も (人がお前に)与え も

食事も何も出して

ソモ キ ナンコロ
 somo ki nankor
 しない だろう

もらえないでしょう。

カトウ アナク エネ アニ。
 katu anak ene an _hi.
 事情 は こうである

それはこういうことです。

コシマツ サクパ ラポク アナクネ
 kosmat sakpa rapok anakne
 嫁 ない 間 は

嫁をもらうまでは

150 コタン オツ タ カ
 kotan or_ ta ka
 村 の所 で も

村でも

エアラキンネ ケウトウム ピリカ ウタラ ネ ワ
 earkinne kewtum pirka utar ne wa
 本当に 心 美しい 人達 であって

本当に立派な人達であり

トゥラノ オカアン エアシカイ クル ネ ア プ
 turano oka=an easkay kur ne a p
 一緒に 暮らす(私達) できる 人 だっ た が

共に暮らすことのできる人でしたが

コシマツ コロ アクス
 kosmat kor akusu
 嫁 を持っ たところ

嫁を持ったところ

オラノ ネウン ネ ヤ カ エラミシカリ コロカ
 orano neun ne ya ka eramiskari koraka
 それから どう だ か も わからない が

なぜかわからないのですが

- 155 ウエイサンペコロパ ワ
weysanpekorpa wa
悪い心を持つ て
悪い心を持ったのです。
- コタン オツ タ カ エアラキンネ
kotan or_ ta ka earkinne
村 の所 に も 本当に
あなたの村では本当に
- ウコエランペカママ¹² コロ オカ ヤク アイェ ヒ
ukoerampekamama kor oka yak a=ye hi
皆が苦勞し ながら 暮らす と (人)言う こと
皆さんが苦勞しているということを
- アヌ コロ アナン コロカ
a=nu kor an=an korka
(人)聞い て いる(人) けれど
聞いてはいるのですが
- サナン カ エラミシカリ ノ アナン ルウエ ネ
san=an ka eramiskari no an=an ruwe ne
下る(人) も 知らない で いる(人) こと である
来ても知らないふりでのいます。
- 160 ヤク… エサン ヤツカ
yak... e=san yakka
と (お前)下っ ても
あなたが来ても
- ネプ カ アエコレ カ アエエレ カ
nep ka a=e=kore ka a=e=ere ka
何 も (人がお前に)与え も (人がお前に)食べさせ も
何を与えも食べさせも
- ソモ キ ナンコロ クス
somo ki nankor kusu
しない だろう から
しないでしょう。
- シニアン ワ アナン ヤク… ペカ カ…
sini=an wa an=an yak... peka ka...
休む(私達) して いる(私) と
私の家で休んでいきなさい。
- アユピ トウラノ トウン ネ ヒネ
a=yupi turano tun ne hine
(私の)兄 と一緒に ふたり で して
私は兄とふたりで
- 165 … トウン ネ ヒネ オカアン ペ ネ ナ”
… tun ne hine oka=an pe ne na”
ふたり で して 暮らす(私達)もの だ よ
暮らしているのです」
- セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言う ながら
と言って
- オカアン ルウエ ネ アクス
oka=an ruwe ne akusu
いる(私達) こと だっ たところ
いました。

12 イランペカママ irampekamama 難儀する、つらい、(間投詞的に) 苦勞だなあ [田]

ラポッケ シットケサクス
rapokke sittokes akusu
そのうちに 日が暮れ たところ

そのうち日が暮れると

エキムネ クル イワク
ekimne kur iwak
山獺に行く 人 帰る

その娘の兄が山獺から帰って来ました。

170 ソンノ カ ペウレ クル ネ ヒネ
sonno ka pewre kur ne hine
本当に も 若い 人 で そして

とても若い人で

ソヨシピタ ヒネ アフン アクス
soyosipita hine ahun akusu
外で身支度を解く して 入る したところ

外で身支度を解いて入って来ると

ネ ポン メノコ
ne pon menoko
その 若い 女

その娘は

“アコタヌン コシマチ
“a=kotanuun kosimaci
(私の)村長 の 嫁

「村長の嫁さんの

ウヌフ ネ ヤク アイエ プ オラ
unuhu ne yak a=ye p ora
母 だ と (人)言う 人 こんど

お母さんだという方が

175 エネ ルアシッタ シニ ワ アン イキ ア プ
ene ruasitta sini wa an iki a p
こう 道のわきで 休ん で いる し た が

道ばたで休んでいたのですが

ウレ エオコク ペコロ イキ コロ
ure eokok pekor iki kor
足 でつまづく ように し ながら

(娘さんは) 足につまづくようにして

アッカリ ワ サン ワ
akkari wa san wa
越え て 下っ て

通り越して行き

オシ サン コロカ
os san korka
後 下る けれど

この人はその後から川を下って来たのですが

エイタサ エランポキウエン ワ
eytasa erampokiwen wa
あまりにも 気の毒に思っ て

あまりにも気の毒なので

180 アシニレ ワ アナン ルウエ ネ ”
a=sinire wa an=an ruwe ne”
(私)休ませ て いる(私) こと です

休んでもらっているのです」

セコロ イマタキ ネ ポン メノコ
sekor imataki ne pon menoko
と 妹 の 若い 女

とその妹娘が

ハウェアン アクス
hawean akusu
言っ たところ

言ったところ

イユプネクル イヨクンヌレ コロ ネ コロカ
iyupnekur iyokunnure kor ne korka
兄である人 あきれ ながら だ けれど

兄の方もあきれながらですが

オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った

こう言いました。

185 “アエレウシレ ヤク ピリカ コロカ
“ a=e=rewsire yak pirka korka
(私がお前を)泊める と いい けれど

「お泊めするのはいいのですが

コタン オルン クル ホシキ メノコ
kotan or un kur hoski menoko
村 の所 の 人 先 女性

村人が先走ってお母様を

ヤントネ アコロ ヒ
yantone a=kor hi
滞在する (私)持つ こと

お泊めしたことを

コタン オルン ニシパ エウン
kotan or un nispa eun
村 の所 の 旦那 に

村長に

アイェ ソモ キ ヤクン
a=ye somo ki yakun
(私)言う しない ならば

言わなければ

190 アイコチャランケ ナ。
a=i=kocaranke na.
(人が私に)文句をつける よ

文句をつけられるのです。

エサン ワ エイエ ヤク ピリカ ナ”
e=san wa e=ye yak pirka na”
(お前)下っ て (お前)言う と いい よ

妹よ、言ってきたさい」

セコン ネ… ハウェアン ルウエ ネ アクス
sekor_ ne... hawean ruwe ne akusu
と 言う 言う こと だっ たところ

と言うので

ネア ポン メノコ ソイネ ワ イサム イネ
nea pon menoko soyne wa isam _hine
その 若い 女 外に出 て しまっ て

その娘は外に出て行きました。

オラ エク アクス
ora ek akusu
こんど 来る したところ

そして戻って来て

195 “タヌクラン アエレウシレ ヤッカ ピリカ。
“ tanukuran a=e=rewsire yakka pirka.
今夜 (私達が)お前を)泊め ても いい

「今夜はここに泊ってもらって大丈夫です。

ニサッタ オヌマン ネ アナクネ
 nisatta onuman ne anakne
 明日 夕方 には

村長は明日の夕方

カムイホプニレ エトコ アオイキ コロ
 kamuyhopunire etoko a=oyki kor
 クマを送る 準備 (人)し ながら

クマ送りをするその準備が

アナン クス ネ クス
 an=an kusu ne kusu
 いる(人) つもり だ から

あるので

ニサッタ オヌマン パクノ イヨツ タ
 nisatta onuman pakno i=or_ ta
 明日 夕方 まで (私の)所 に

明日の夕方まで私のところに

200 アエアヌ ヤッカ ピリカ ナ セコロ
 a=e=anu yakka pirka na sekor
 (私がお前を)置く しても いい よ と

いてもらって良いと

アイェ ワ エカン ルウエ ネ”
 a=ye wa ek=an ruwe ne”
 (人)言っ て 来る(私) の です

言われて来ました」

セコロ ハウエアニ オラ
 sekor hawean_hi ora
 と 言う こと こんど

と言うので

ヤイライケアン ヒ アイェ コロ アナン
 yayrayke=an hi a=ye kor an=an
 感謝する(私) こと (私)言う ながら いる(私)

私は感謝の言葉を言っていました。

ラポッケ オラ ピリカ スケ キ ヒネ
 rapokke ora pirka suke ki hine
 そのうちに こんど 良い 料理 し て

その間に妹はおいしい食事を作り

205 イイペレ ヤッカ
 i=ipere yakka
 (私に)食べさせ ても

食べさせてくれましたが

イペ カ アヌクリ ノ
 ipe ka a=nukuri no
 食事し も (私)しづらく て

私だけ食べるのも心苦しく

アコン ニシパ エランポキウエン ワ
 a=kor_ nispa erampokiwen wa
 (私の)の 夫 かわいそう で

夫がかわいそうなので

コロ ピリカ ウシケ アヌムケ ワ
 kor pirka uske a=numke wa
 その おいしい 所 (私)選ん で

おいしいところを選んで

アコロ ポイ サラニプ オルン
 a=kor pon_ saranip or un
 (私の)の 小さい 編み袋 の所 に

持参した編み袋に

- 210 アチピヤンケ¹³ コロ イペアン ルウエ ネ
 a=cipiyanke kor ipe=an ruwe ne 入れながら食事をしました。
 (私)入れ ながら 食事をする(私) の です
- ヒネ オラ ホツケアン イケ カ
 hine ora hotke=an _hike ka そして寝るにも
 そして こんど 寝る(私) して も
- ピリカ セツ カ… ポン メノコ カリネ
 pirka set ka... pon menoko kar _hine きれいな寝床を娘さんが作ってくれて
 良い 寝床 も 若い 女 作っ て
- ピリカ ホツケアン ヒネ
 pirka hotke=an hine ぐっすりと眠りました。
 良く 眠る(私) して
- オラ イシムネ ヒネ オラ トケシ イネ
 ora isimne hine ora tokes _hine 翌日、日が暮れてから
 そして 翌日 に こんど 日が暮れ て
- 215 イトウラ ヒネ ネ コタン コロ… ウン
 i=tura hine ne kotan kor... un その人達と一緒に
 (私を)連れ て その 村 の に
- サパン¹⁴ ルウエ ネ アクス
 sap=an ruwe ne akusu 下って行くと
 下る(私達) こと だっ たところ
- コタン オツ タ シポロ チセ アン イネ
 kotan or_ ta siporo cise an _hine 村には大きな家があつて
 村 の所 に とても大きい 家 あっ て
- オロ タ アフナン ルウエ ネ アクス
 oro ta ahun=an ruwe ne akusu そこに入って行きました。
 そこ に 入る(私達) こと だっ たところ
- タネ コタン コロ ウタラ アフツパ ヒネ¹⁵
 tane kotan kor utar ahuppa hine するともう村人達が来ていて
 もう 村 の 人達 入っ て
- 220 チセ シクテ ノ コタンコロクル ウタラ
 cise sikte no kotankorkur utar 家いっぱい村長達
 家 いっぱい に 村長 達
- メノコ ネ ヤ ヘカッタン ネ ヤ オカアニネ
 menoko ne ya hekattar_ ne ya oka=an _hine 女性も子供達もいて
 女性 だ とか子供達 だ とか いる(人) して

13 意味未詳。前掲書では「自分で食べないでお椀の食べ物を入れ物に入れて持って帰ること」というのが上田トシ氏による説明とされている。

14 ふつう村長の家は村の中央にあり、親切な兄妹の家は村長の家の上流側のどこかにあったことがサプsap「川下方向へ行く」という表現でわかる。

15 前出の通りクマ送りが行われていて、村人たちがよばれている場面。祭りは神事であると同時に、村をあげての社交の場でもある。

オロ タ アフナン。
oro ta ahun=an.
そこ に 入る(私達)

そこに入って行きました。

アパパ… ポク… ポ タ
apapa… pok… po ta
戸口 の下 に

戸口の下に

困った… イテ… イテメニ キ… アン イネ¹⁶
ite… itemeni ki… an hine
梁 あっ て

(敷居)があつて

225 オロ タ モノ アアン ウシケ
oro ta mono a=an uske
そこ で (私)座る 所

座る場所が

タクピ サラ ワ アン ヒネ
takupi sara wa an hine
だけ 開い て いる して

そこだけ空いていたので

オロ タ アアン ヒネ アナン コロカ
oro ta a=an hine an=an korka
そこ に 座る(私) して いる(私) けれど

座っていました。

オリパカン コロ インカラン アクス
oripak=an kor inkar=an akusu
遠慮する(私) ながら 見る(私) したところ

遠慮がちに見ると

アコロ アマツネポホ
a=kor a=matnepoho
(私)の (私)の娘

私の娘が

230 イサプテ コロ アン シリ イキ アイネ
isapte kor an siri iki ayne
給仕をし ながら いる 様子 する うちに

給仕をしている様子でした。

イサム タ エキネ ネ…
i=sam ta ek hine ne…
(私)のそばに 来 て その

やがて私のそばに来て

カム イコイプニ ヒ…
kam i=koypuni hi…
肉 (私に)よそう こと

肉をよそってくれるのですが

カム オサトウイ¹⁷ ネ ペコロ オカイ ペ
kam osatuy ne pekor okay pe
肉 おいしくない所 な ように ある もの

おいしくなさそうなところを

イコイプニ カ
i=koypuni ka
(私に)よそう も

私によそいます。

16 話者はしばらく言葉が出てこなくて「困ったな」と独り言をつぶやいた後、イテメニ itemeni (梁)と言っているが、梁は天井にある部材で座る場所とは考えにくい。戸口の下なので、おそらくトンチカマニ toncikamani (敷居)という言葉が出て来なかったのだろう。

17 オサトウヒ osatuhi (魚や肉などの) 端っこの脂っけのないところ、おいしくないところ [中]

- 235 アコオンカミ イネ アコロ ポイ サラニプ オロ
 a=koonkami _hine a=kor pon_ saranip oro
 (私)拝礼をし て (私)の 小さい 袋 の中
 私は拝礼して持参した袋の中に
 アフン… アオマレ ヒネ
 ahun... a=omare hine
 入る (私)入れ て
 入れました。
- オロ タ アアン ヒネ アナン ルウェ ネ アクス
 oro ta a=an hine an=an ruwe ne akusu
 そこ に 座る(私) して いる(私) こと だっ たところ
 そこに座っていると
- ネン カ… ネプ カ イカ ウン チク ペコロ
 nen ka... nep ka i=ka un cik pekor
 何 か (私)の上 に したたる ように
 何か私の上にしたたるように
- ヤイヌアン クス インカラン ルウェ ネ アクス
 yaynu=an kusu inkar=an ruwe ne akusu
 思う(私) ので 見る(私) こと だっ たところ
 思ったので見ると
- 240 イエンカシケ タ
 i=enkasike ta
 (私)の上 に
 私の上に
- スミピセ¹⁸ ラチツケ ヒネ アン イネ
 sumipise racitke hine an _hine
 油の袋 ぶら下がっ て い て
 油の入った袋がぶら下げてあって
- オロ ワ スム イカ ウン チク コロ
 oro wa sum i=ka un cik kor
 それ から 油 (私)の上 に したたり ながら
 その油が私の上にしたたり
- アン ヒネ アン ヒネ… ヒネ
 an hine an hine... hine
 い て い て して
 続けているのでした。
- オラノ ポヘネ アマツネポ アコイルシカ コロ
 orano pohene a=matnepo a=koiruska kor
 それから なおさら (私)の娘 (私)怒る ながら
 ますます娘に腹を立てながら
- 245 オラ ナニ ソイエネアン ルウェ ネ アクス
 ora nani soyene=an ruwe ne akusu
 こんど すぐ 外に出る(私) こと だっ たところ
 外へ飛び出すと
- ネア イトウラ ア ポン メノコ カ
 nea i=tura a pon menoko ka
 あの (私を)連れ た 若い 女 も
 あの私を連れて来てくれた娘さんと
- イトウラ ヒネ ナニ ホシッパアン イネ
 itura hine nani hosippa=an _hine
 一緒 に すぐ 帰る(私達) そして
 一緒に帰って来ました。

18 昔の家の中には、トドやアザラシの胃袋などに油を入れて家の梁から下げて保存しておいた。そこから油がしたたるために誰もが嫌がってその下には座らず、空席になっていたということ。何も知らずにその席に座った母親を座らせたままにして油まみれにさせるといのは親不孝も甚だしい。

オラノ ネ ポン メノコ カ イオクンヌレ コン
 orano ne pon menoko ka i=okunnure kor_
 それから その 若い 女 も (私に)同情し ながら

それからその娘さんは私に同情し

ナニ アミ ワ オカイ ペ ウセ アアヌ¹⁹
 nani a=mi wa okay pe use a=anu
 すぐ (私)着 て いる もの (私)脱ぐ

私が着ているものを脱がせて

250 フライエ ワ イコレ。
 huraye wa i=kore.
 洗っ て (私に)くれる

洗ってくれました。

シンナ アミプ サンケ ヒネ
 sinna amip sanke hine
 別の 着物 出し て

別の着物を出して

イイミレ ネ ヤ キ ワ
 i=imire ne ya ki wa
 (私に)着せる だ とかし て

私に着せてくれたりしました。

エアラキンネ ヤイライケアン チサン コロ
 earkinne yayrayke=an cis=an kor
 本当に 感謝する(私) 泣く(私) ながら

私は心から感謝をして泣いて

アマツネポ アコイルシカ コロ
 a=matnepo a=koiruska kor
 (私の)娘 (私)怒り ながら

わが娘に対して腹を立てつつ

255 オロ タ スイ レウシアン ルウエ ネ ヒネ
 oro ta suy rewsian ruwe ne hine
 そこ に また 泊る(私) こと であって

そこにまた泊りました。

オラ ニサッタ クンネイワ オラ トウナシノ
 ora nisatta kunneywa ora tunasno
 こんど 翌日 朝 こんど 早く

翌朝早く

ネア セツパ アコロ ヒネ サナン ヒネ
 nea seppa a=kor hine san=an hine
 あの 切羽 (私)持っ て 下る(私) して

あの刀のつばを持って川を下り

ネ コタンコン… クル… ニシパ オロ タ
 ne kotankor... kur... nispa oro ta
 あの 村の 長 の所 に

村長の家の

アパパ タ アラパアン ルウエ ネ アクス
 apapa ta arpa=an ruwe ne akusu
 戸口 に 行く(私) こと だっ たところ

戸口まで行ったところ

260 ネア アマツネポ ニナ ヤク イエ コロ
 nea a=matnepo nina yak ye kor
 あの (私の)娘 薪取る と 言い ながら

私の娘はまきをとりに行くと言って

19 ウセ アアヌ use a=anu 別に (私) 置く>私が脱ぐ (単数形)。複数形はウセ アアリ use a=ari。

ソイエネ。
soyene.
外に出る

外に出て来ました。

ニ ウウェカリレ… ソイエ ヒネ
ni uwekarire... soyne hine
木 集める 外に出 て

そしてまきを集めに

ナニ エキムネ ワ イサム。
nani ekimne wa isam.
すぐに 山へ行く してしまう

すぐ山へ行ってしまうました。

オラ アフナン ヒネ
ora ahun=an hine
こんど 入る(私) して

私は家に入り

265 ネア セツパ アサンケ コロ
nea seppa a=sanke kor
あの 切羽 (私)出し ながら

あの刀のつばを出して

“アコタヌ ケム ワ アエプ カ イサン マ… クス
“a=kotanu kem wa aep ka isam _wa... kusu
(私の)村 飢饉 で 食べ物 も ない ので

「私の村が飢饉で食べ物がなく

アエプ アタサレ クス ヤク…
aep a=tasare kusu yak…
食べ物 (私)交換する ために と

食べ物と交換していただくために

アコン ニシパ イセレ ワ サナン ルウエ ネ”
a=kor_ nispa i=sere wa san=an ruwe ne”
(私の)の 夫 (私に)持たせ て 下る(私) の です

これを夫から託されて来ました」

セコロ ハウエアナン コロ ネア セツパ
sekor hawean=an kor nea seppa
と 言う(私) ながら その 切羽

と言ってあの刀のつばを

270 アサンケ ルウエ ネ アクス
a=sanke ruwe ne akusu
(私)出す こと だっ たところ

出したところ

ネア コタンコロ… チセコロクル
nea kotankor... cisekorkur
その 村の 家の主人

その家の主人は

ウェンノ ウェンノ コオンカミ ヒネ
wenno wenno koonkami hine
悪く 悪く 拝礼し て

雑に拝礼をして

シオシマコマレ ヒネ オラ
siosmakomare hine ora
自分の後ろに入れ て こんど

それを自分の後ろに押しやり

“ポンノ イテレ ヤク ピリカ”
“ponno i=tere yak pirka”
少し (私を)待つ と いい

「少し待っていてください」

- 275 セコロ ハウエアン コロ ソイエネ ワ イサム
 sekor hawean kor soyene wa isam
 と 言い ながら 外に出 て しまう
 と言って外に出て行ってしまいました。
- オカ タ ルプネマツ カ アニケ カ
 oka ta rupnemat ka an _hike ka
 その後 で 老婦人 も いる して も
 家には年配の女性もいるのに
- シネ イタク カ
 sine itak ka
 ひとつ 言葉 も
 ひとつ言も
- イヘコテ イタク カ ソモ キ ノ
 i=hekote itak ka somo ki no
 (私に)向かって 話し も しない で
 私に話しかけることもなく
- オロ タ オリパカン ヒネ アナナイネ
 oro ta oripak=an hine an=an ayne
 そこ で かしこまる(私) して いる(私) したあげく
 私はかしこまっていた。
- 280 オロ タ ネア コタンコロニシパ アフン
 oro ta nea kotankornispa ahun
 そこ に あの 村長 入る
 そこに村長が戻って
- ルウェ ネ アクス
 ruwe ne akusu
 こと だっ たところ
 来ると
- オッチケ オロ シクテノ
 otcike oro sikteno
 お膳 の所 いっぱい
 お膳いっぱい
- パシクル ポネ²⁰ タクプ カ…
 paskur pone takup ka…
 カラス 骨 ばかり
 カラスの骨だけを
- パシクル ポネ オッチケ オロ オマレ ヒネ
 paskur pone otcike oro omare hine
 カラス 骨 お膳 の所 に入れる して
 のせて
- 285 コロ ワ エク イネ イコレ。
 kor wa ek _hine i=kore.
 持っ て 来 て (私に)くれる
 持って来て私によこしました。
- “ タアン ペ セツパ アイタサレ プ ネ ナ ”
 “ taan pe seppa a=i=tasare p ne na ”
 この もの 切羽 (人が私と)交換する もの だ よ
 「これを刀のつばと交換しましょう」
- セコロ ハウエアン コロ イコレ ヒ クス
 sekor hawean kor i=kore hi kusu
 と 言い ながら (私に)くれる ので
 と言って私によこすので

20 後に明らかになる通りこのカラスの骨で事態は好転するが、この場面で村長がカラスの骨を与えるというのは嫌がらせやからかいのたぐいであったと考えられる。

- オラ ア…
 ora a…
 こんど
- オンカミ ア オンカミ ア ヒネ オラ
 onkami a onkami a hine ora
 何度も拝礼をし て こんど
- 290 アコロ ワ ソイエネアン ヒネ エカニネ
 a=kor wa soyene=an hine ek=an_hine
 (私)持つ して 外に出る(私) して 来る(私) して
- ネア ヤントネアン ポン メノコ
 nea yantone=an pon menoko
 あの 滞在する(私) 若い 女
- オロ タ エカン ワ
 oro ta ek=an wa
 の所 に 来る(私) して
- タプネ ネ ヒ アイェ アクス オラノ
 tapne ne hi a=ye akusu orano
 このよう だ と (私)言っ たところ こんど
- イヨクンヌレ ア イヨクンヌレ ア コロ ネ コロカ
 iyokunnure a iyokunnure a kor ne korka
 何度も同情し ながらだ けれど
- 295 ネア ポン メノコ サラニプ
 nea pon menoko saranip
 その 若い 女 袋
- トウ サラニプ シクテ ノ
 tu saranip sikte no
 2 袋 いっぱい に
- ウサ フ カム ネ ヤ
 usa hu kam ne ya
 色々 生肉 だ とか
- チ カム ネ ヤ サラニプ シクテ ノ
 ci kam ne ya saranip sikte no
 焼く肉 だ とか 袋 いっぱい に
- カリネ イエトコオマレ ヒネ アン ヒネ
 kar_hine i=etokoomare hine an hine
 し て (私に)先に入れ て いる そして
- 300 オラ ウサ ウサ イルラ クナク イェ コロ
 ora usa usa i=rura kunak ye kor
 こんど いろ いろ (私を)送ると 言い ながら
- ウサ ウサ アセ カネ ヒネ アラキアニネ
 usa usa a=se kane hine arki=an_hine
 いろ いろ (私達)背負いも して 来る(私達) して
- 何度も拝礼をして
 持って外に出て来ました。
 あの泊めてもらった娘の
 ところに来て
 このようなわけですと言うと
 たいそう私に同情しながら
 その娘は
 ふたつの袋いっぱい
 生肉や
 焼肉を
 入れてくれました。
 そして私を送りましようと言ってきて
 いろいろと背負って

	アウニヒ カランケ ノ a=unihi karanke no (私の)家 の近く に	私の家のそばまで
	アラキアン ルウエ ネ アクス arki=an ruwe ne akusu 来る(私達) こと だったところ	来てくれました。
	“テ パクノ アエルラ ヤクネ “te pakno a=e=rura yakne ここ まで (私がお前を)送る ならば	「ここまであなたを送りましたので
305	テ ワノ ホシピアン クス te wano hosipi=an kusu ここ から 帰る(私) から	私は帰ります。
	テ パクノ ネ ヤクン te pakno ne yakun ここ まで である ならば	ここまで来れば
	オラ スイ エホシピ ワ ora suy e=hosipi wa こんど また (お前)帰っ て	あなたが帰って
	エシケタク ヤッカ ピリカ ナンコン ナ ²¹ e=siketak yakka pirka nankor_ na” (お前)人を呼びに行っ ても いい でしょう ね	荷物を取りに来てもらえばいいでしょうから」
	セコロ ハウエアン コロ シケ ホツパ ヒネ sekor hawean kor sike hoppa hine と 言い ながら 荷物 を置い て	と言って荷物を置いて
310	サン ルウエ ネ ア プ… ヒネ オラ san ruwe ne a p... hine ora 下る こと だっ た が そして こんど	帰って行きました。
	シケアン イネ アウニヒ タ エカン アクス sike=an _hine a=unihi ta ek=an akusu 荷物を背負う(私) して (私の)家 に 来る(私) したところ	私が荷物を持って家に帰って来ると
	アコン ニシパ ケメ… ウエン ペ ネ クス a=kor_ nispa keme... wen pe ne kusu (私の)の 夫 飢饉で 悪い もの だ から	私の夫は飢えで弱って
	ホツケ ワ アン。 hotke wa an. 寝 て いる	寝ていました。
	エカン ヒ アイェ アクス ホプニ ヒ クス ek=an hi a=ye akusu hopuni hi kusu 来る(私) こと (私)言っ たところ 起きる ので	帰って来たと言うと夫は起きたので

21 主人公の家の近くまで来て荷物を置いて帰るというのは一見冷たい行為のように見えるが、この娘の優しい性格から考えると、飢饉で苦しんでいる家族がいる家に突然訪ねて行っは気を遣わせてしまうからという高度な気遣いのように見受けられる。

- 315 “タン パシクル ポネ ネア セツパ
 “tan paskur pone nea seppa
 この カラス 骨 あの 切羽
 アイタサレ ヤク イエ… ルウエ ネ ヤク
 a=i=tasare yak ye... ruwe ne yak
 (人が私に)交換する と 言う こと だ と
 コタンコンニシパ イエ コロ
 kotankonnispa ye kor
 村長 言い ながら
 アイコレ ワ アセ ワ エカン ルウエ ネ”
 a=i=kore wa a=se wa ek=an ruwe ne”
 (人が私に)与え て (私)背負っ て 来る(私) の です
 セコロ ハウエアナン コロ
 sekor hawean=an kor
 と 言う(私) ながら
- 320 ネア オツチケ オロ オマ
 nea otcike or oma
 あの お膳 の所 に入る
 パシクル ポネ アサンケ ルウエ ネ アクス
 paskur pone a=sanke ruwe ne akusu
 カラス 骨 (私)出す こと だっ たところ
 エアラキンネ アコロ ニシパ
 earkinne a=kor nispa
 本当に (私)の 夫
 エヤイコブンテク²² コロ
 eyaykopuntek kor
 喜び ながら
 オンカミ ア オンカミ ア コロ
 onkami a onkami a kor
 何度も拝礼をし ながら
- 325 オラ ナニ コロ ワ ソイエネ ヒネ
 ora nani kor wa soyene hine
 こんど すぐ 持っ て 外に出 て
 オラノ イナウケ ア イナウケ ア ヒネ
 orano inawke a inawke a hine
 それから 木幣をたくさん作っ て
 イナウ トウンブ オロ ネ パシクル ポネ
 inaw tumpu or ne paskur pone
 木幣 寝床 の所 その カラス 骨

「このカラスの骨をあの刀のつばと

交換してやろうと

村長が言って

よこしたので持って来ましたよ」

と言って

そのお膳に入った

カラスの骨を出したところ

夫はとても

喜びました。

何度も拝礼をし

すぐに持って外に出て

木幣をたくさん作り

削りかけの包みの中にあのカラスの骨を

22 何でも良いから口に入るものが欲しい飢饉の時にカラスの骨をもらって喜ぶとは、一見意外な反応にも見えるが、この夫の意外な反応こそがこの物語最大のターニングポイント。この夫は博識な人であるらしく、カラスも神なので正しく儀式をとり行えば助けてもらえるということを知っていたのだろう。「なんだこんなもの」と言って粗末な扱いをする人であれば、この苦境から脱することはできない。

- オピッタ オマレ ヒネ
opitta omare hine
みんな 入れる して
全部入れて
- ネア イナウネニ エウシ ヒネ
nea inawneni eusi hine
その 木幣の木 の先に刺して
木幣の棒の先に刺して
- 330 イノウチパ オツ タ アシ ルウエ ネ ヒネ²³
inawcipa or_ ta asi ruwe ne hine
祭壇 の所 に 立てる こと であって
祭壇に立て
- オラ エアシリ アフン ワ オラ
ora easir ahun wa ora
こんど それこそ 家に入っ て こんど
そうして家に入りました。
- アエ… アセ ア アエプ アスパパ
a=e... a=se a aep a=supapa
(私)背負った 食べ物 (私)煮る
私は背負って来た食べ物を
- ポロ ス アニ… シクテ ノ アスパ ワ オラ
poro su ani... sikte no a=supa wa ora
大きい 鍋 で いっぱい に (私)煮 て こんど
大きな鍋いっぱい料理しました。
- コタン コロ ウタラ ネ ヤッカ オピッタ アタク
kotan kor utar ne yakka opitta a=tak
村 の 人達 で も みんな (達私)招く
そして村人達をみんな呼び
- 335 ヘカッター ネ ヤッカ オンネ ウタラ ネ ヤッカ
hekattar ne yakka onne utar ne yakka
子供達 で も 老人 達 で も
子供達や年寄り達も
- オピッタ アタク
opitta a=tak
みんな (私達)招く
みんな招きました。
- ネ ヤ ネ ヤ アセ ア アエプ
ne ya ne ya a=se a aep
だ とかだ とか (私)背負った 食べ物
いろいろ私が背負って来た食べ物を
- アウコウサライエ ワ アエ ネ ヤ
a=ukousaraye wa a=e ne ya
(私)皆に分配し て (私)食べる だ とか
分けて食べたり
- アコロパレ ネ ヤ キ カネ
a=korpora ne ya ki kane
(私)持たせる だ とかし ながら
持たせたりもしました。
- 340 エアラキンネ コタン コロ ウタラ
earkinne kotan kor utar
本当に 村 の 人達
村人達は

23 キツネやアホウドリ、珍しい獲物の頭骨は、イナウキケ inawkike (削り花) で包んで室内の上座などに置き守り神とする場合がある。またイヨマンテ iyomante(熊送り)の際には、クマの頭骨の中にイナウキケを詰めるなど所定の方法で飾り、二股になった木の先にさして戸外のヌササン nusasan (幣場) に立てる。ここでカラスの骨を幣場に祭った方法はその両者をあわせたような描写で、具体的なことはわからないが、守り神としてカラスの骨を丁重に祭ったということだろう。

エヤイコブンテク ア… エヤイコブンテク
 eyaykopuntek a... eyaykopuntek
 喜ぶ 喜ぶ

それはそれは喜び

キロンヌ ノ イペパ ヒネ オラ
 kironnu no ipepa hine ora
 お腹いっぱい に 食べ て こんど

お腹いっぱい食べて

ホシツパ ワ イサム ヒ
 hosippa wa isam hi
 帰っ て しまう こと

帰って行きました。

オラノ トウツコ レレコ ネ… アクス
 orano tutko rerko ne... akusu
 そして 2日 3日 になると

それから2、3日して

345 アウタリ エキムネパ アクス
 a=utari ekimnepa akusu
 (私)の村人 山猟に行く したところ

村人達が山猟に行くと

イセポ カ チロンヌプ カ
 isepo ka cironnup ka
 ウサギ も キツネ も

ウサギもキツネも

ライケパ ヤク イェパ コロ イワクパ コロ
 raykepa yak yepa kor iwakpa kor
 とる と 言い ながら 帰る と

とれたと口々に言って帰って来ると

アエヤイコブンテク コロ オラ
 a=eyaykopuntek kor ora
 (私達)喜び ながら こんど

みんな喜んで

アウコウサライエ ワ アエ コロ オカアン。
 a=ukousaraye wa a=e kor oka=an.
 (私達)分け合っ て (私達)食べ ながら いる(私達)

分け合って食べていました。

350 ラポツケ アコン ニシパ カ エキムネ アクス
 rapokke a=kor_nispa ka ekimne akusu
 そのうちに (私)の 夫 も 山猟に行っ たところ

やがて夫も山猟に行ったところ

タネ ユク カ カムイ カ オシコニ
 tane yuk ka kamuy ka oskoni
 もう シカ も クマ も とる

シカもクマもとれた

ヤク イェ コロ コロ ワ イワキ オラ
 yak ye kor kor wa iwak_hi ora
 と 言い ながら 持っ て 帰る こと こんど

と言って持って帰って来たので

アエヤイコブンテク コロ
 a=eyaykopuntek kor
 (私達)喜び ながら

私は喜びました。

オロワノ アナクネ
 orowano anakne
 それから は

それから

- 355 ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=esirkirap ka somo ki no
 何 も (私達)苦勞する も しない で
 オカアン ルウエ ネ ア プ
 oka=an ruwe ne a p
 暮らす(私達) こと だっ た が
 パハウ ネ クス… アナクス
 pahaw ne kusu... an akusu
 噂 だ から あっ たところ
 ネア イパナケ ウン コタン オツ タ
 nea ipanake un kotan or_ ta
 あの 川下 の 村 の所 に
 ヒナク ワ カ パシクル コタン コトイセ ワ
 hinak wa ka paskur kotan kotoyse wa
 どこ から か カラス 村 に寄っ て
- 360 パシクル コヤイウエンヌカラパ コロ
 paskur koyaywennukarpa kor
 カラス に苦しめられ ながら
 オカ ヤク アイェ ヒ アヌ コロ オカアン
 oka yak a=ye hi a=nu kor oka=an
 いる と (人)言う こと (私)聞き ながら 暮らす(私達)
 ラポク エアラキンネ
 rapok earkinne
 そのうちに 本当に
 ネ チセ オンナイ ウンノ パシクル アフン ワ
 ne cise onnay unno paskur ahun wa
 その 家 の中 まで カラス 入る して
 チセ オンナイ タ オカイ²⁴ ア
 cise onnay ta okay a
 家 の中 に あっ た
- 365 ウサ チェプ ネ ヤ カム ネ ヤツカ トクパ トクパ
 usa cep ne ya kam ne yakka tokpa tokpa
 色々 魚 だ とか 肉 で も つつく つつく
 シクヌ ワ オカ アイヌ ウタラ ネ ヤツカ
 siknu wa oka aynu utar ne yakka
 生きる している 人 達 で も
 シク ヌミ エタイェ ネ ヤ トクパ トクパ ワ
 sik numi etaye ne ya tokpa tokpa wa
 目 玉 を引く だ とか つつく つつい て

何の苦勞もなく

暮らしました。

噂では

あの川下の村に

どこからかカラスが寄って来て

カラスに苦しめられて

いるというのを聞きました。

そのうちに

家の中までカラスが入って来て

家の中にある

魚や肉をつついて

生きている人間達の

目の玉も引っ張ったり突いたりするので

24 沙流方言では、オカイ okay は pe、pa の前でだけ現れ、それ以外ではオカ oka となるが、ここではオカイ okay と発音されている。あるいは言いよどみか。

- エアラキンネ コタン オロ
earkinne kotan or
本当に 村 の所
本当に村が
- アアルシテッカ ノイネ ネ ヒ ヤク アイェ ヒ
a=arustekka noyne ne hi yak a=ye hi
(人)滅ぼす よう である ことと (人)言う こと
滅んでしまいそうだいうのを
- 370 アヌ ワ オラノ アエライキマテク コロ
a=nu wa orano a=eraykimatek kor
(私)聞くして そして (私)驚く ながら
聞いてひどく驚きました。
- エネ イカオピウキ ア ペウレ ウタラ
ene ikaopiwiki a pewre utar
あのように 人を助け た 若い 人達
あの助けてくれた若い人達を
- アホタヌカラ アフナラ ソモ キ ヤク ウェン ナ
a=hotanukar a=hunara somo ki yak wen na
(私達)訪ねる (私達)探す しない と だめだ よ
訪ねて探しに行かなければいけない
- セコロ ハウエアン… オカアン ペ ネ クス
sekor hawean... oka=an pe ne kusu
と 言う いる(私達) もの だ から
と話し合っていたので
- オラ アコタヌン ウタラ ナニ
ora a=kotan un utar nani
こんど (私)村 の 人達 すぐに
村人達がすぐに
- 375 ネ ウイリワク ネ ウタラ オカイ ペ ネ クス
ne uirwak ne utar okay pe ne kusu
その 兄妹 である 人達 いる もの だ から
その兄妹の家を
- エウン ホタヌ エサツパ ルウエ ネ アクス
eun hotanu esappa ruwe ne akusu
そこへ 訪ね に下る こと だったところ
訪ねて川を下って行きました。すると
- “ タネ イシトマアン クス
“ tane isitoma=an kusu
もう 恐ろしい(私達) から
「もう恐ろしいので
- タント ネ キラアン クナク アラム ア プ
tanto ne kira=an kunak a=ramu a p
今日 に 逃げる(私達) と (私達)思っ た が
今日にも逃げて行こうと思って
- ヤイエトコイキアン コロ オカアン ルウエ ネ ”
yayetokoyki=an kor oka=an ruwe ne”
準備をする(私達) ながら いる(私達) こと だ
準備をしていたところでした」
- 380 セコロ ハウエオカ コロ オカ ウシケ タ
sekor haweoka kor oka uske ta
と 言う ながら いる 所 に
とその兄妹が言っているところへ
- サナン ルウエ ネ セコロ ハウエオカパ コロ
san=an ruwe ne sekor haweokapa kor
下る(私達) こと だ と 言い ながら
私たちが来たのだと口々に言いながら

オラ トウラ ワ アラキパ ワ
 ora tura wa arkipa wa
 こんど 同伴し て 来 て

村人達が連れて来たので

エアラキンネ アエヤイコプンテク。
 earkinne a=eyaykopuntek.
 本当に (私)喜ぶ

私は本当に喜びました。

エネ アン クシケライポ
 ene an kuskeraypo
 こう ある おかげで

おかげ様で

385 ウサ アエプ ウサ オカイ ペ
 usa aep usa okay pe
 色々 食べ物 色々 ある もの

食べ物やいろいろなものを

アイウンケライ ワ アネ…
 a=i=unkeray wa a=ne…
 (人が私に)恵まれ て (私)である

恵んでもらい

アコヤイライケ ア プ
 a=koyayrayke a p
 (私達)感謝し た が

感謝していたのに

セコロ ハウエオカアン コロ
 sekor haweoka=an kor
 と 言う(私達) ながら

と言いつつ

チシ コロ アウコヤイエ… ラプ²⁵ ネ ヤ
 cis kor a=ukoyaye... rap ne ya
 泣き ながら (私達)話をする? だ とか

泣いてお互いに話をしたり

390 ナ ネン ネン ネ ラポツケ オラ
 na nen nen ne rapokke ora
 まだ いる いる である そのうちに こんど

しました。

アコン ニシパ エネ ハウエアニ。
 a=kor_nispa ene hawean_hi.
 (私)の 夫 このように言った

そして私の夫はこう言いました。

“オナ カ サク ウヌ カ サク ウタラ ネ ヤクン
 “ona ka sak unu ka sak utar ne yakun
 父 も ない 母 も ない 人達 だっ たら

「父も母もないのであれば

ネ ペウレ オツカイポ アナクネ
 ne pewre okkaypo anakne
 その 若い 男 は

お兄さんの方は

アポホ ネ アカラ… アン
 a=poho ne a=kar... an
 (私)の息子 に (私)する

私の息子になったら

- 395 ヤクン… カ ピリカ ヤ”
yakun... ka pirka ya”
ならば も いい か
良いではないか
- アコウエペケンヌ アクス
a=kouwepekennu akusu
(私)尋ねる したところ
と言うと
- “ヤッカ ピリカ。ポ ネ アナン ヤッカ ピリカ”
“yakka pirka. po ne an=an yakka pirka”
しても いい 子 に なる(私) ても いい
「結構です。子供になっても良いです」
- セコン ネ オラ
sekor_ ne ora
と 言う こんど
と言います。
- “イマタク ネ プ アナクネ
“imatak ne p anakne
妹 である 者 は
「妹の方は
- 400 アマチヒ マツネポホ²⁶ ネ アエノンノイタク ワ
a=macihi matnepoho ne a=enonnoitak wa
(私の)妻 の娘 として (私)祈っ て
妻の娘にするように神に祈り
- ウタシパ ウソイタ オカ ワ チセカラン ワ
utaspa usoyta oka wa cisekar=an wa
お互いに 隣り合って 暮らし て 家をつくる(私達)して
お互いに隣り合って家をつくり
- ウソイタ オカアン ワ ウコパヨカアン
usoyta oka=an wa ukopayoka=an
隣り合って 暮らす(私達) 互いに訪ねる(私達)
隣同士で暮らして仲良く
- ウコシネウエアン クス ネ ナ”
ukosinewe=an kusu ne na”
互いに遊びに行く(私達) つもりだ よ
暮らしましょう」
- セコロ ネ イネ
sekor ne_hine
と 言って
と言って
- 405 エアラキンネ アウコヤイコブンテク コロ
earkinne a=ukoyaykopuntek kor
本当に (私達)互いに喜び ながら
本当にお互いに喜んで
- オカアン ラポッケ オラ
oka=an rapokke ora
暮らす(私達) そのうちに こんど
いました。
- ピリカ ポン メノコ アエトウン ヒネ
pirka pon menoko a=etun hine
美しい 若い 女 (私)嫁にもらっ て
きれいな娘を

26 アイヌの社会では、男性は男性の家系を、女性は女性の家系を継ぐという考え方がある。そこでこの親切な兄妹のうち兄の方は夫の養子に、妹の方は妻の養女にという表現になっている。それでもひとつの家族であることに変わりはない。

- ネア トウラノ オカアナ オツカヨ
 nea turano oka=an a okkayo
 あの 一緒に 暮らす(私達) した 男
 あの一緒に暮らしていた男性と
- トウラノ アアナ
 turano a=anu
 一緒に (私)置く
 結婚させて
- 410 オラ ナニ ネア ポン メノコ カ
 ora nani nea pon menoko ka
 こんど すぐ あの 若い 女 も
 すぐにあの娘も
- チセカラ イネ シンナ アヌ ウシケ ウン
 cisekar hine sinna anu uske un
 家をつくる して 別に 置く 所 に
 家をつくり別に住ませ
- ピリカ オツカヨ トウラノ アアナ²⁷ ヒネ…
 pirka okkayo turano a=anu hine…
 立派な 男 と一緒に (私)置く して
 立派な男性と一緒にして
- ネ ヤ
 ne ya
 だ とか
- オラノ ネプ… ノ アナクネ ウコパヨカアン ノ
 orano nep... no anakne ukopayoka=an no
 それから 何 は 互いに訪ねる(私達) して
 それからはお互いに行き来をして
- 415 ウコシネウエアン。
 ukosinewe=an.
 互いに遊びに行く(私達)
 暮らしました。
- ネプ アカラ ヤッカ ウトウラアン カネ コロ
 nep a=kar yakka utura=an kane kor
 何 (私達)し ても 連れ立つ(私達) し ながら
 何をするのも連れ立って
- アコシマチヒ ネ ヤッカ
 a=kosmacihi ne yakka
 (私の)嫁 であつても
 嫁と
- ネ アマツネポ トウラノ²⁸… ネ ヤッカ
 ne a=matnepo turano… ne yakka
 その (私の)娘 と一緒に であつても
 娘も
- ネプ カラパ ヤッカ
 nep karpa yakka
 何 し ても
 何をするのにも
- 420 ウコトクイエコロパ コロ オカ。
 ukotokuyekorpa kor oka.
 仲良くし ながら 暮らす
 仲良く暮らしました。

27 アイヌの社会では、女性のもとに男性が通って来ることをきっかけとして結婚する「通い婚」が一般的である。

28 テラノ terano と聞こえるが、トウラノ turano 「～と一緒に」と言おうとしたか。

ポ カ コン ラポツケ オラ
 po ka kor_ rapokke ora
 子 も 持つ そのうちに こんど

子供もできて

シネアンタ ソイネアン ルウエ ネ アクス
 sineanta soyne=an ruwe ne akusu
 あるとき 外に出る(私) こと だっ たところ

ある時外に出ると

ネア アマツネポ ソイ タ
 nea a=matnepo soy ta
 あの (私の)娘 外 に

実の娘が外に

アシ ワ アン ヒ クス
 as wa an hi kusu
 立っ て いる ので

立っていました。

425 アコパシロタ コロ
 a=kopasrota kor
 (私)ののしり ながら

私はののしって

“ エネ オナ オクパレ ウヌ オクパレ
 “ene ona okpare unu okpare
 あんな 父 不孝 母 不孝

「あのように親不孝をしたのに

アイネ… ア プ
 ayne... a p
 したあげく だった のに

オラ ヒンタ カラ クス エク ルウエ ネ ヤ
 ora hinta kar kusu ek ruwe ne ya
 こんど 何 する ために 来る こと だ か

何のためにやって来たんだい。

ライ ネ ヤッカ ライ シンナイサム エキ ワ
 ray ne yakka ray sinnaisam e=ki wa
 死ん で も 死 霊 (お前)して

死んで幽霊になって

430 オラ カムイ オルン カ
 ora kamuy or un ka
 こんど 神 の所 に も

あの世にも

エアラパ エアイカプ。
 e=arpa eaykap.
 (お前)行く ができない

おまえは行くことができない。

ハル カ サク²⁹ ワ エアラパ エアイカツパ クス
 haru ka sak wa e=arpa eaykap _wa kusu
 食糧 も なく て (お前)行く できない ので

供物もなしにあの世に行けないのだから

29 人間が死んだときは、この世にいる人間に供物と共に供養をしてもらって初めてあの世に行くことができると考えられている。この娘のように嫁ぎ先の方はみんな死んでしまい、実家の親にも供養してもらえない場合はあの世には行けずにその手前で足止めをされ、供養の品が届くのを待つことになる。幽霊としてこの世に出て来たのは、何とか供養をもらえるよう母親に頼みに来たということだろう。

シユプ エシヌンヌカレ³⁰ シンネ ナンコロ”
 siyupu e=sinunnukare sinne nankor”
 しっかり (お前)一人です? ように しなさい

「しっかり自分で何とかしなさい」

セコロ アイェ コロ アコパシロタ コロ
 sekor a=ye kor a=kopasrota kor
 と (私)言い ながら (私)ののしり ながら

と私は言っているののしりながら

435 ヘム オカイ ペ アコイチャラパ
 hem okay pe a=koicarpa
 何 ある もの (私)にまく

何かをまき散らした

ルウェ ネ アクス
 ruwe ne akusu
 こと だ たところ

ところ

オロ タ クリ パン テク ヒネ
 oro ta kuri pan tek hine
 そこ で 姿 消える さっとして

そこで姿がかき消えて

イサム ヒ クス アフナン ヒネ
 isam hi kusu ahun=an hine
 しまう ので 入る(私) して

しまいました。家に入り

アコン ニシパ エウン アイェ アクス
 a=kor_nispa eun a=ye akusu
 (私)の 夫 に (私)言っ たところ

夫に言ったところ

440 アコン ニシパ カ パシロタ ア パシロタ ア
 a=kor_nispa ka pasrota a pasrota a
 (私)の 夫 も さんざんにののしる

夫もさんざんののしりました。

“エネ イオクパレ ア プ
 “ene i=okpare a p
 このように (私)に親不孝をした のに

「あのように親不孝をしたものが

フンタ カラ クス エク ヒ ネ ナ。
 hunta kar kusu ek hi ne na.
 何 し に 来る ことだ よ

何しに来たのだ。

ウナ コチャリ³¹ ヘネ キ ヤン”
 una kocari hene ki yan”
 灰 をまく でも し なさい

灰でもまいてやれ」

セコロ アコン ニシパ カ ハウエアン コロ
 sekor a=kor_nispa ka hawean kor
 と (私)の 夫 も 言い ながら

と

445 パシロタ ア パシロタ ア ルウェ ネ ヒネ
 pasrota a pasrota a ruwe ne hine
 さんざんにののしる こと だ そして

ののしりました。

30 「シヌンヌカレ」と割とはっきり言っているが、意味未詳。シネンネカラ sinen-ne-kar「ひとりで～をする」、あるいはヌカンヌカラ nukannukar「～のめんどろをみる」に似た意味の言葉を言おうとしたものか。

31 幽霊や化け物を追い払うときは、炉の灰をまく。灰は尊い火の神様が生み出したものだから魔をはらう力があると考えられている。

	オラノ… ヒケ カ アマツネポ orano... hike ka a=matnepo そして しても (私の)娘	こうして
	ソンノ アマツネポ アナクネ sonno a=matnepo anakne 本当の (私の)娘 は	実の娘には
	アオシクル カ ソモ キ ノ a=oskur ka somo ki no (私)惜しむ も しない で	思い残すこともなく
	アコエヘセ コロ オカアン a=koehese kor oka=an (私)うつぶんを晴らして 暮らす(私)	恨みを晴らしました。
450	ラポツケ トウラノ オカアン rapokke turano oka=an そのうちに 一緒に 暮らす(私達)	そのうちに同居の
	アコロ オツカイポ エウン カ a=kor okkaypo eun ka (私)の 若い男 に も	息子にも
	ポロンノ ポ カ コロ ワ ア… ネ ヤ poronno po ka kor wa a... ne ya たくさん 子 も 持つ て だ とか	たくさん子供ができて
	アマツネポ エウン カ a=matnepo eun ka (私の)娘 に も	娘にも
	ポ カ コロ シリ カ アヌカラ カ キ コロ po ka kor siri ka a=nukar ka ki kor 子 も 持つ 様子 も (私)見る も し ながら	子供ができて
455	ウコシネウエアンパ ukosinewe=anpa 互いに遊びに行く(私達)	皆仲良く暮らしました。
	ウサ ウサ アコン ニシパ カ パツカイ カネ usa usa a=kor_nispa ka pakkay kane いろ いろ (私)の 夫 も 背負っ て	私の夫も
	ヤイカタ カ パツカイ カネ アン コロ yaykata ka pakkay kane an kor 自分 も 背負っ て い ながら	私も孫を背負い
	アコロ ソン ウタラ a=kor son utar (私)の 子 達	孫達の
	テケ アアニ ネ ヤ キ コロ teke a=ani ne ya ki kor の手 (私)持つ だ とか し ながら	手を取って

460 コタントウラシアン コタンペサン コロ
 kotanturasi=an kotanpes=an kor
 村の上手に行く(私) 村の下手に行く(私) ながら

互いの家を行き来しながら

オカアン ロク イネ オンネアン イネ
 oka=an rok _hine onne=an _hine
 暮らし(私) た そして 年を取る(私) して

仲良く暮らし年を取り

タネ オンネアン シンネ クス
 tane onne=an sinne kusu
 もう 死ぬ(私) よう だから

もう死んで行くのです。

オンネアン オカ タ ネ ヤツカ
 onne=an oka ta ne yakka
 死ぬ(私) 後 で であっても

私が死んだ後も

アコロ ソン ウタラ
 a=kor son utar
 (私)の 子 達

子供達よ

465 イカン ウコウェイサンペコロ サク ノ…
 ikan ukoweysanpekor sak no…
 決して 悪い心を持た ず に

決して皆悪い心を持つことなく

ピリカ… ウコケウトウムピリカ ノ
 pirka… ukokewtumpirka no
 良く 互いの心を良くし て

良い心を持って

オカ ヤク ピリカ ナ セコロ
 oka yak pirka na sekor
 暮らす と いい よ と

暮らしなさいと

シネ メノコ イタクムイエ コロ
 sine menoko itakmuye kor
 ある 女性 言い残し て

ある女性が言い置いて

イサム セコン ネ。
 isam sekor_ ne.
 死んだ と さ

死にましたとさ。